

【社会系(地理歴史)教科指導法】 2.0ver (20181717 版)

1. 授業のテーマとねらい

本授業は、民主主義社会の形成者の育成という視点から中等社会科及び地理歴史科を指導できる教師の資質・能力の育成をめざす。本授業で多様な active leaning の手法を実体験することで、以下の3点ができること目的とする。

- (1) 授業は所与の存在ではなく、教師の目標に基づいて「デザイン」されることに気付く。
- (2) 授業の構成を「分析」し、指導案を「開発」し、実践を「評価・改善」できる。
- (3) 「良い」授業についての自分なりの判断規準を確立して、説明できる。

2. スケジュール

(1) 第1講・第2講【学習者の視点で経験を省察する】 6/12

「なぜ社会科なんて学ぶの?」という素朴な問いに、あなたは答えることができますか?

1コマ: オリエンテーション, グループ分け

「ナチズムの台頭」にみる社会科授業「あるある」とは

「博多・華丸大吉」の漫才にみる理数科授業「あるある」とは

2コマ: ① この授業は「良い」授業か、「悪い」授業か、それはどうして

② なぜ多くの人々は、学校教育での学びに「意義」を見いだしにくいのか

③ 「観察による徒弟制」とは何か、「レリバンス」とは何か

※ 3分でわかる社会科授業 10の理論シリーズ「吉村功太郎」

(2) 第3講・第4講【指導者の視点で実践を構想する】 6/19

あなたは、誰が授業をしても「同じ」とは思っていないか?

1コマ: 大正時代を1時間で教えるならば、何をこそ教えるか

2コマ: ① 4人の教師の指導案は、どこが、どのように違うか

② あなたの「一押し」の指導案はどれか、それはどうして、まだ足りないことは

③ 「知識の構造」とは何か、「エイムトーク/ゲートキーピング」とは

※ 3分シリーズ「谷川彰英」

(3) 第5講・第6講【社会の意味を構築する授業を分析する】 6/26

他者の「良い」授業から、どんなことを学ぶことができますか?

1コマ: 「亜熱帯の沖縄」と「石山合戦」を比較しよう

2コマ: ① 地理や歴史の「何を」教えているか

② 「地域」「時代」の分かり方・教え方に、どのような異同があるだろうか

③ 「科学的思考力」とは何か、「トゥールミンモデル」とは何か

※ 3分シリーズ「岩田一彦」「加藤公明」

(4) 第7講・第8講【社会の因果を分析する授業を分析する】 07/03

他者の「良い」授業から、どんなことを学ぶことができますか?

1コマ: 「律令国家・唐」と「交通ネットワーク」を比較してみよう

- 2コマ：① 社会（政治・経済・社会）の「何を」教えているだろうか
② 「社会」の分かり方・教え方に、どのような異同があるだろうか
③ 「オーセンティック」な学びとは何か、「最近接領域」とは何か
※ 3分シリーズ「児玉康弘」

(5) 第9講・第10講【意味を構築する・因果を分析する指導案を開発する】 **07/17**
より「良い」授業を作るために、私にできることは何だろうか？

- 1コマ：「石山合戦」と「メキシコの借金」を比較してみよう
2コマ：① 授業づくりに当たって、教師が行うべき作業をリスト化しよう
② 「引きだし」「揺さぶる」ために、教師はどのような工夫をしているか
③ 「構成主義」とは何か、「実証主義」とは何か
※ 3分シリーズ「森分孝治」「池野範男」

(6) 第11講・第12講【学びの足場をつくる指導案を開発する】 **07/24**
より「良い」授業を作るために、私にできることは何だろうか？

- 1コマ：「貿易ゲーム」をやってみよう
2コマ：① 授業づくりに当たって、教師が行うべき作業をリスト化しよう
② 「引きだし」「揺さぶる」ために、教師はどのような工夫をするべきか
③ 「スキャフォールディング」とは何か、「逆向き設計」とは何か
※ 3分シリーズ「唐木清志」「佐長健司」

(7) 第13講・第14講【公開授業を評価・改善する】 **07/31の1コマ**
より「良い」授業に改善するために、私たちにできることをやってみよう！

- 1コマ：「讃岐の糖業の父：向山周慶」の改善案、再改善案を比較しよう
2コマ：① 棚橋先生は、オリジナルの授業を、どのように・なぜ改善したか
② 桑原先生と岩下先生では、なぜ棚橋プランの評価が異なるのか
③ 谷先生は、棚橋先生の授業を、どのように・なぜ改善したか
④ 「授業研究（内在的・外在的批判）」とは何か、「リフレクション」とは何か
※ 3分シリーズ「藤瀬泰司」

(8) 第15講【私たちの指導案を評価・改善する】 **07/31の2コマ**
優れた指導案を模擬授業風に発表してみよう

- 2コマ：4人の指導案の良さと課題はどこにあるのだろうか
10人の社会科授業理論の魅力と関係性はどうか

3. 評価

(1) **グループでの取組課題 5点×7回＝35点**

授業の1コマ目では、主にGWに取り組みます。

授業の2コマ目では、GWの成果をプレゼンテーションしたり、議論したりします

(2) **個人の取組課題 65点**

・以下、いずれかの授業（指導案）1時間分を開発する（50点）

提出期限は、7月27日（金） Bb9 経由で提出する。優秀作品は発表してもらう。

- ① 「ナチズムの台頭」を、主体的、対話的で深い学びの視点から作り直す
- ② 「メキシコの借金」を、現代的な情勢や最新の理論を加味して作り直す
- ③ 「シリーズ日本近現代史 1-10（岩波）」を、講義で学んだ視点や方法を用いて授業化する
- ④ 「貧困大国アメリカ 1,2（岩波）」を、講義で学んだ視点や方法を用いて授業化する

・3分でわかる社会科授業 10 の理論シリーズに関する作品を開発する（15点）

提出期限は、8月3日（金） Bb9 経由で提出する。

- ① 私の一押し理論を紹介したパンフレット
- ② 10 の理論の関係を説明した見取り図・鳥瞰図
- ③ 紹介されている論文・書籍 1 本の要旨をまとめたポンチ絵・構造図

4. その他

(1) 持参物

毎回、ノート PC またはタブレット端末を持参すること。

コース packets（教材資料集）は、下記のホームページでダウンロードしてください

(2) 欠席・遅刻

3回を越えて欠席した場合は（特別な理由がある場合を除いて）受講資格を失います

9時を越えて入室した場合は遅刻とします。2回の遅刻で、1回の欠席とみなします

(3) 参考書・教科書

以下の文献をお勧めします、

社会認識教育学会編『中学校社会科教育』『地理歴史科教育』（新版）、学術図書

全国社会科教育学会『新 社会科授業づくりハンドブック中学校編』、明治図書

(4) 講義情報

端末には、以下の URL とアドレスを登録しておいてください。

ホームページ：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/>

メールアドレス：kusahara@hiroshima-u.ac.jp

(5) TA

D2：河原さん、M1：篠田さんがサポートします

授業づくり等で相談したい時は、A410 の院生室を訪ねるか、アポをとってください